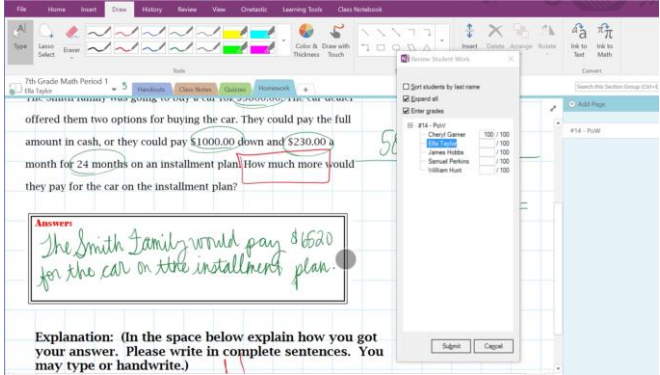


1. OneNote LMSアドイン連携

教材作成者はOneNote教材（手書きやOfficeドキュメントを組み合わせ）を作成し、生徒に配信できます。生徒が手書きで回答をすると教材作成者は手書きで採点し、LMSに評価、コメントを記録することができます。



OneNoteを活用し手書きで回答、添削が可能となります。

2. OfficeMiXアドイン連携

MIXで動画コンテンツを作成後、「EduCrossへアップロード」アドインを押下することで、EduCrossの学校単位の教材ライブラリに簡単に作成した動画をアップロードできる機能。



教材動画の作成効率が飛躍的に向上します。

3. 動画内全文検索機能

Azure Media Indexerを使って、テキスト検索より動画の必要とされるシーンから閲覧可能となる機能。ユーザーは学習したいキーワードを入力すると、動画の該当シーンから学習を始めることができます。

4. 生徒にあった教材集をリコメンド

Machine Learningを活用したAdaptive learning 機能。過去のビックデータより、生徒の習熟度、進捗度に合わせた教材をリコメンドする機能

5. UWP (ユニバーサル Windows プラットフォーム対応) により下記を実現

A) SurfaceHUB (電子黒板) 対応



授業で教材集を活用し、生徒側のタブレットと連携することができます。(授業支援機能)

B) Windows10モバイル Continuum対応



スマートフォンがPCになります。
Win10モバイルフォンを導入した企業・文教にて先進的な「eラーニング」を訴求できます。

6. 動画配信機能の強化

Azure Medi Services と高度に連携し下記オプションサービスをリリース予定です。

A) DRM配信機能

DRM機能によって高度にコンテンツを保護します。

B) ライブストリーミング・VOD機能

カメラで撮影した映像をリアルタイムにストリーミングします。ライブ終了後はVODコンテンツとして配信可能です。

C) AdaptiveStreaming機能

ユーザーのネットワーク帯域最適な可変ビットレートで配信できます。

D) CDN機能

数千人、数万人へ一斉配信できます。